

令和2年度 能美市立福岡小学校 学校評価計画

重点目標 (めざす姿)	具体的方策	主担当	【評価指標】 <成果指標><努力指標><満足度指標>	【評価の根拠】 達成度判断基準
1	<p>①(学校経営ビジョンの具現化) 学校経営ビジョンの具現化を図るため、主任等を中心として、「チーム学校」として全職員で協働し、働き方改革や業務の平準化・スリム化、月2回以上の定時退校日の設定などを図りながらPDCAが実働する学校づくりをめざす。</p> <p>②(安心・安全な学校生活・危機管理) 児童が安心して学校生活を送れるよう物心両面における危機管理に努め、いじめ・不登校・特別支援等の課題には、組織的に迅速・的確に対応する。</p>	<p>教頭</p> <p>教頭</p>	<p><努力指標> 業務の見直しによる子どもと向き合う時間の確保に向け、重点的な取組を共有し、主任等のリーダーシップのもと、各部会のロードマップを生かし、取組が組織的、効率的に運営されている。</p> <p><努力指標> いじめ・不登校に対し定期的な児童アンケートや面談等を通して早期発見し、問題には、関連機関との連携を進めながら、早期で適切な対応に努めている。</p>	<p>【教職員アンケート】 ・取組が組織的に実践され、検証を経て改善されている、という教職員の意識の割合 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満</p> <p>【児童アンケート】【保護者アンケート】【教職員アンケート】 ・先生は自分のよいところを認めてくれると感じている児童の割合 ・学校はいじめのない学級・学校づくりに努めていると感じる保護者の割合 ・児童をほめたり励ましたりしながら長所を伸ばす指導をしている教職員の割合 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満</p>
2	<p>①(授業改善と学力の向上) 全ての子どもたちの学びが深まるようゴールの姿と系統性を意識して工夫・配慮された授業改善を行う。また、「学力向上ロードマップ」に従って組織的・継続的・積極的に学力向上に取り組む。</p> <p>②(基礎・基本の定着) 「きらめきシステム」等を充実・発展させ、計画的・組織的に検証と改善を重ね、基礎的知識・技能を定着させる。</p> <p>③(学び合い・言語活動、活用力の育成) 全ての教育活動で適切な言語活動や学び合い活動を充実させて、「見方・考え方」を育成しながら、主体的・対話的な深い学びにつながる「活用する力」を育成する。</p> <p>④(学力の検証) 学力調査の分析結果を共通理解し、分析から得た課題に迅速に取り組み、計画的に学力の向上をめざす。また、新学習指導要領に対応した運用を行う。</p>	<p>学習指導部</p> <p>学習指導部</p> <p>学習指導部</p> <p>学習指導部</p>	<p><満足度指標> 指導事項の系統性と児童の学びの自覚化を重視した授業改善を行い、学力の向上が児童の実感となっている。また、学力向上ロードマップの確実な実践に努めている。</p> <p><成果指標> 「きらめきシステム」が計画的・組織的に運営され、基礎・基本を定着させるものになっている。</p> <p><満足度指標> 根拠や筋道を明確にして自分の考えを表現する言語活動を充実させ、互いの考えを比較したり、つなげたり、広げたりする学び合い活動で学習意欲を高め、思考力・判断力・表現力等の深化を図っている。</p> <p><努力指標> 学力調査の分析・考察による方策を各教科の指導に活かしている。</p>	<p>【児童アンケート】【教職員アンケート】【保護者アンケート】 ・授業で分かったこと、できたことをまとめたり、振り返ったりしており、内容がわかるという児童・保護者の割合 ・授業で学んだことをまとめたり、振り返ったりする活動を通して、学びを実感している教職員の割合 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満</p> <p>【児童アンケート】【保護者アンケート】【教職員アンケート】 ・授業では、課題をつかんで学習に取り組んでいる児童の割合 ・子どもの家庭学習が習慣となっていると感じる保護者の割合 ・家庭学習などを含む「きらめきシステム」をはじめとする基礎・基本の定着に向けた取組をしている教職員の割合 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満</p> <p>【児童アンケート】【教職員アンケート】 ・自分の考えを伝えたり、友だちと話し合ったりすることで、よい授業になっていると感じる児童の割合 ・理由や根拠を明確に話したり書いたり学び合ったりする指導を通して、児童の力が高まっていると感じる教職員の割合 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満</p> <p>【児童アンケート】【教職員アンケート】 ・「わけ」や「もと」を話したり、書いたりしようとしている児童の割合 ・「条件に合わせて」書き力等の向上を意識した指導をしている教職員の割合 A:90%以上 B:85%以上 C:75%以上 D:75%未満</p>
3	<p>①(積極的な生徒指導) 人間関係エクササイズ等で児童の自尊感情を高め、Q.Uの継続的、全校的な分析をもとに親和的な学級をつくる。また、特別支援教育の充実を図る。</p> <p>②(主体性・協働性の育成) 児童会活動や各種縦割りの教育活動等を通して、児童が主体的に取り組むお互いを大切にして協働性を高める取組を工夫することで、「より良い学校を自分たちでつくる」という意識を高める。</p> <p>③(道徳教育) 重点項目(希望と勇氣、努力と強い意志、親切・思いやり、相互理解・寛容、公正・公平、社会正義)を中心に道徳の時間を充実させる。また、豊かな体験を活かし、教育活動教育活動全体を通して心に響く道徳教育を推進する。</p> <p>④(読書指導) 読書の量や質を高めるため、「読み聞かせ」「屋読書」「多読賞」「親子読書」など、読書活動のより一層の工夫・充実を図る。</p>	<p>生徒指導部</p> <p>生徒指導部</p> <p>道徳教育推進部</p> <p>学習指導部</p>	<p><成果指標> 親和的な学級づくりが進み、自己肯定感や共感的な人間関係が醸成されている。</p> <p><満足度指標> 一人一人が「よりよい学校を自分たちでつくる」意識を持ち、誰かの役に立つことの大切さに気付く。また、自分から気づいた「よいこと」を行動に移す意識が高まっている。</p> <p><努力指標> 道徳の公開授業をはじめ、計画的に授業実践を行う。また、教育活動全体で、体験的な活動を通して、重点項目を中心に、心に響く道徳教育を行っている。</p> <p><努力指標> 教科での並行読書や調べ活動での図書館活用が行われている。また、屋読書、家庭での読書活動の推進に努めている。</p>	<p>【児童アンケート】【教職員アンケート】 ・一人一人が大切にされるクラスにしようとしている児童の割合 ・一人一人を大切に生徒指導を心がけている教師の割合 A:90%以上 B:85%以上 C:75%以上 D:75%未満</p> <p>【児童アンケート】【教職員アンケート】 ・そうじや係、委員会の仕事をすすんでいる児童の割合 ・そうじをはじめ、主体的・協働的に学級・学校生活をよくしようとする児童の育成を心がけ、指導している教職員の割合 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満</p> <p>【児童アンケート】【教職員アンケート】 ・道徳の時間に自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりしている児童の割合 ・道徳の授業の充実と努力、個に返して考える時間を確保している教職員の割合 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満</p> <p>【児童アンケート】【教職員アンケート】 ・いろいろな本を読むことができている児童の割合 ・教科の並行読書や調べ学習での図書館活用をすすめている教職員の割合 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満</p>
4	<p>①(基礎体力づくりと体力の向上) 同学年異学年との多様な遊びを通して、基礎体力を高める。また、「スポチャレ」や各種取組で目標を持たせ、粘り強く・楽しく運動に親しみ、体力を向上させる。</p> <p>②(安全指導の徹底) 体育活動・給食活動での安全対策・安全教育を徹底し、事故のない安全・安心の教育活動を確保する。</p> <p>③(健康教育・生活リズムの確立) 自らの健康や生活に関心を持ち、進んでよりよい生活習慣・食習慣づくりを推進する。また、地域・保護者と連携して、家庭学習や生活のふりかえりシート等、生活リズムの確立に向けて取り組む。</p>	<p>保健体育部</p> <p>保健体育部</p> <p>保健体育部</p>	<p><満足度指標> 休み時間には、積極的に友達と仲良く遊んでいる。また、個人や集団として立てた目標に向かって意欲的に各種運動に取り組んでいる。</p> <p><努力指標> 安全指導を徹底し、けがや事故の防止に努め、児童の危機回避能力育成のための努力をしている。</p> <p><成果指標> 「早寝週間」「早起き週間」「家庭学習強化週間」に積極的に取り組み、児童の生活リズム・学習習慣が整っている。</p>	<p>【児童アンケート】【教職員アンケート】 ・自分の目標を持って体育の学習に取り組んでいるという児童の割合 ・個々の児童が目標を持って運動に取り組めるように工夫している教職員の割合 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満</p> <p>【児童アンケート】【教職員アンケート】 ・けがや事故に気がつけて活動している児童の割合 ・安全指導を徹底し、児童自身が危機回避への意識を持てるようにしている教職員の割合 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満</p> <p>【保護者アンケート】 ・子どもの早寝・早起きやメディアコントロール等、生活リズムを整える取組をしている保護者の割合 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満</p>
5	<p>①(PTA活動のさらなる活性化) 保護者と連携して、PTA活動の活性化を図る。そのためにも学級PTAをさらに充実させ、アクションプランを共有しながら参画意識を持って、あいさつ等、社会性の育成に取り組めるよう努める。</p> <p>②(コミュニティスクールの推進) 学校と地域が協働し、子どもを地域で支え育むため、学校運営協議会を充実させ、地域の人材が積極的に学校運営に参画できるコミュニティスクールを継続する。家庭・地域のニーズを把握し、「開かれた学校」として地域や保護者に信頼される学校づくりを進める。</p>	<p>教頭</p> <p>教頭・CS担当教諭</p>	<p><満足度指標> PTA活動の趣旨が理解され、協働意識が高まるとともに、学校行事やPTA行事に保護者が積極的に参加している。また、児童の生活や学習の状況を理解し、より良い学習習慣の育成のための家庭での指導・支援が適切に行われている。</p> <p><努力指標> 地域人材の有効活用をはじめ、校内外の課題を効果的に協議・改善するため「学校運営協議会」の運営の充実を図る。また、多様な媒体で「開かれた学校」づくりについて適切に情報を発信する。</p>	<p>【保護者アンケート】【教職員アンケート】 ・子どもが地域の方等にもすすんで挨拶ができると感じる保護者の割合 ・家庭で大人が率先して挨拶したり、「ありがとう」「ごめんね」等、思いやりの心を大切に話しかけたりしている保護者の割合 ・挨拶や地域の過ごし方等、PTAとの連携を図りながら改善できるよう努めている教職員の割合 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満</p> <p>【児童アンケート】【教職員アンケート】 ・福岡小学校や自分の町のいいところが言える児童の割合 ・地域や家庭との連携を大切にするCSの活動を理解し、活用しようとしている教職員の割合 【学校運営協議会委員の意見】 ・CSディレクターを中心とする適切な学校運営が進んでいると感じる委員の意見 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満</p>